

南部忠平杯第40回くらし女子駅伝競走大会

開催要項（予定）

- 主催 倉吉市、一般財団法人鳥取陸上競技協会、新日本海新聞社
- 特別協賛 バルコス
- 協賛 ミズノ、大塚製薬、JA鳥取中央
- 後援 鳥取県、鳥取県教育委員会、倉吉市教育委員会、湯梨浜町、湯梨浜町教育委員会、鳥取県町村会、鳥取県中部町村会、鳥取県スポーツ協会、鳥取看護大学、鳥取短期大学、鳥取県高等学校体育連盟、倉吉商工会議所、鳥取県経済同友会、倉吉青年会議所、鳥取県観光連盟、倉吉市ホテル旅館組合、はわい温泉・東郷温泉旅館組合、三朝温泉旅館協同組合、関金温泉振興組合、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSKさんいん中央テレビ、エフエム山陰、鳥取中央有線放送、日本海ケーブルネットワーク
- 協力団体 鳥取県警察本部、倉吉警察署、倉吉市体育協会、鳥取中部ふるさと広域連合消防局、鳥取県中部総合事務所県土整備局、倉吉・湯梨浜交通安全指導員連絡協議会、倉吉市スポーツ推進委員協議会、鳥取県中部医師会
1. 日時 令和7年10月5日（日）午前10時スタート
2. 監督会議 10月4日（土）午後2時～
会場：鳥取県立倉吉体育文化会館 大研修室（倉吉市山根529番地2）
※監督会議受付でアスリートピブスを配布するので、必ず出席すること
※オーダー変更がある場合は、変更用紙（受付時に配布）に記入すること
※「日本海駅伝」と同時開催
3. 開会式 10月4日（土）午後3時～
会場：倉吉体育文化会館（倉吉市山根529番地2）
※「日本海駅伝」と同時開催
4. 閉会式 10月5日（日）午後0時30分～
会場：倉吉市営陸上競技場 本部テント前
※「日本海駅伝」とは別に行う
5. コース 倉吉市営陸上競技場付設 倉吉打吹・東郷湖畔コース
（倉吉市営陸上競技場を発着点とし、湯梨浜町上浅津付近折り返し）

6. 距離・区間 5区間（計 21.097 km）

1区	6km	倉吉市営陸上競技場—倉吉ほっとプラザ前
2区	4.0975km	倉吉ほっとプラザ前—湯梨浜町・ゆりはま大平園前
3区	3km	ゆりはま大平園前（一碁・将棋はわい会館付近折り返し） —湯梨浜町・めぐみのゆ公園付近
4区	3km	めぐみのゆ公園前—倉吉市・金毘羅院駐車場前
5区	5km	金毘羅院駐車場前—倉吉市営陸上競技場

7. 参加資格

- ①日本陸連に登録しているチーム
- ②各高校に在籍するもの（高専は3年生まで）
- ③出発後1時間30分以内で完走できるチーム（県内高校は除く）

8. チーム

1チーム監督1名、選手10名の登録とする
※参加チームは各高校2チームまでとする

9. 競技規則

- ①2025年度日本陸上競技連盟規則に準じて行う
- ②伴走車は一切認めない
- ③アスリートビブスの番号は主催者が指定。タスキは主催者側で準備したものを使用する
- ④競技運営上、最終区（第4中継所）で午前11時05分で繰り上げスタートを行う
- ⑤外国人留学生の参加については2名以内とし、**出場は3区または4区で計1名とする**

10. 参加費

1チーム 18,000円（消費税込み・申し込みと同時に納入すること）
※自然災害、事件、事故、疫病の流行等で大会が中止となった場合、参加料は返還しない

11. 表彰

優勝	カップ（持ち回り）、メダル、賞状、副賞
2位	トロフィー、メダル、賞状、副賞
3位	トロフィー、メダル、賞状、副賞
区間賞	メダル、賞状、副賞
優勝監督賞	盾

12. 参加申込及び締め切り日

No.	提出書類	提出方法	申込期日
1	参加申込書	電子メールのみ	8月22日(金)午後5時まで ※宿泊は要項13を参照 ※弁当の最終変更は大会前日まで
2	参加料振込	所定の郵便振替を利用又は指定の郵便口座へ振込 名 義：(株)新日本海新聞社 口座番号：01470-7-8099	
3	弁当申込	電子メールのみ	
4	宿泊申込	専用申込フォーム	
5	オーダー表	電子メールのみ	9月19日(金)まで
6	参加承諾書・健康診断書	郵送又は電子メール	※参加承諾書等は、所属高等学校長、監督、学校医の押印が必要
7	最終オーダー表	監督会議受付時に提出	監督会議受付時に提出

<注意事項>

申込期日は必ず厳守してください。大会不参加の場合、参加料の返金はいりません。必要事項の未記入など、提出書類に不備がある場合、再提出を求める場合があります。

申し込み先（宿泊申し込みを除く）

〒680-8688 鳥取県鳥取市富安2-137 新日本海新聞社事業部内駅伝事務局
TEL 0857(21)2885 FAX 0857(21)2891 E-mail jigyo@nnn.co.jp
※大会要項、参加申込書等は駅伝ホームページからダウンロードできます。
<https://www2.nnn.co.jp/event/kurayosi/> ※7月19日(金)～

13. 宿 泊 宿泊斡旋を希望する場合は、資料を参考にインターネットで申し込む

- ・ 宿泊設定期間 = 10月3日(金)～10月4日(土)の2日間
- ・ 宿泊申込方法 = インターネット申込のみ
- ・ 宿 泊 代 金 = 1人9,350円～14,850円(施設ランクや宿泊内容等の条件により変動)
- ・ 宿泊申込期間 = 7月22日(火)10:00～8月22日(金)17:59まで

※詳細は別紙ご確認ください

◎宿泊斡旋申込フォームURL及びQRコード

<https://secure.com-jtb.jp/ekiden-2025/>



宿泊に関するお問い合わせ

(株)JTB鳥取支店「日本海駅伝・くらし女子駅伝」大会斡旋デスク
〒680-0824 鳥取県鳥取市行徳1丁目205 営業時間=9:30～17:30 休業日=土・日・祝日
TEL 0857-22-8851 FAX 0857-24-7228 E-mail tottori9@jtb.com

14. 昼食 大会当日の昼食（弁当）が必要であれば主催者で準備する。同封の用紙で申し込むこと
一個 700円（税込み、お茶付）
※大会当日、陸上競技場で弁当と引き換えに代金を清算する
15. 選手輸送 大会当日、全選手の配置と収容は、主催者が用意するバスで行うので必ず乗車すること
招集時間等については監督会議で説明する
集合時間等はプログラムに記載する
16. その他 ①参加者は、各チームおよび個人の責任において健康管理を行うこと
②競技中の事故について、主催者側は応急処置のみ行うが、以後の処置については各チーム、個人で責任を持つものとする（スポーツ傷害保険には一括加入する）
③発着点の倉吉市営陸上競技場周辺は混雑が予想されるので、各出場チームには駐車券を送付する
④大会前の試走は必ず歩道で行い、交通ルールを遵守すること

大会に関するお問い合わせ

〒680-8688 鳥取県鳥取市富安 2-137 新日本海新聞社事業部内駅伝事務局

TEL 0857(21)2885 FAX 0857(21)2891 E-mail jigyo@nnn.co.jp

大会ホームページで今大会の情報、過去大会の様子もご覧いただけます

<https://www2.nnn.co.jp/event/kurayosi/>



運営細目および監督・選手に対する注意事項

本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走規準および本大会規定による

1. 出場選手について

- (1) 第1区走者より第5区走者のオーダー表を前もって提出し、最終変更のみを監督会議受付時に提出すること。なお、A、B2チームが出場する場合は、AからB、BからAの変更も認める。
- (2) 監督会議後の選手変更は病気、ケガ等不慮の場合のみ、同一チームの補欠をその区間の交代として補充できる(チーム受付・選手変更届を大会当日午前7時00分～7時30分の間に大会本部受付に提出すること)
- (3) 外国人留学生の参加については2名以内とし、出場は3区もしくは4区の計1名とする

2. 競技について

- (1) 選手が走る走路について全線交通規制を実施する
- (2) 選手は道路の中央線より左側を走らなければならない。右折交差点では誘導ライン(カラーコーン)より右に出てはならない。また中継所において、タスキを渡し終わった選手は速やかに左側へよること
- (3) 引き継ぎはタスキを用いる。タスキは第1区走者の第1次点呼(朝の受付時)に渡す。タスキは肩から斜めわき下へかけて走るものとし、肩にかけてないものは失格となる。ただし、引き継ぎ前約400m、引き継ぎ後約200mは手に持って走ってよいが、できるだけ早く肩にかけること
- (4) アスリートビブスは1人に2枚(区間番号入り)配布するので、ユニフォームの胸、背部にそのまま確実に着けること
※アスリートビブスについているチップ(記録計測器)は、競技終了後に中継所で回収する。チップを紛失した場合は、実費負担を求め
- (5) 車および人による伴走、飲食物補給その他、走者への援助を行うことは出来ない。伴走およびこれに類する行為があった場合は失格の対象となる
- (6) 第1区走者の出発時のコース順等は、監督会議までに大会事務局で決める
- (7) 出発に当たっては、10分前、5分前、1分前、30秒前をそれぞれ通告し、「用意」は呼ばず、「10秒前」と呼ぶ。出発合図はピストルを用いる。第1区走者は5分前にスタート地点に並び、少なくとも2分前に競技服装となる。スタートはウォーキングスタートとする
- (8) 第4中継所(金毘羅院駐車場)で午前11時5分を目安に繰り上げスタートを行う。その際に、繰り上げ走者は赤いタスキをつけてスタートする
- (9) レース中に走者が不慮の事故のため競技を中止した場合は、次の走区から最終順位の走者と一緒に次走者を出発させる。その場合、総合記録は認められないが、事故のあった区間以外の区間記録は認める
- (10) 各区間とも「中間点」「あと1km地点」の標示を出す。(3kmは中間点のみ)
- (11) レース中に生じた事故について、主催者は応急処置のみを行う
- (12) レース中の選手に対する給水所は設けない。

3. 選手の招集、輸送について

- (1) 最終点呼は現地(各中継所)で行うが、応じない場合は失格とする場合がある
- (2) 選手は、中継所到着後からスタートまで時間があるので、中継所役員の指導によりウォーミングアップを行うこと。また、走り終わった選手は収容バスに遅れないように乗車すること。なお、選手の安全についてはあらか

じめ指導しておきたい

(3) 選手の荷物は輸送しないので、次走者のものを着用する等、各チームで対応すること(貴重品等の管理は各チームで行うこと)

(4) 輸送バスの招集時刻および、選手の輸送計画はプログラムに記載する

4. 試走について

(1) 必ず交通ルールを遵守すること。特に「信号無視」、「車道走行」は厳禁。地域住民に迷惑がかかる行為は控えること

(2) 夜間、早朝は、安全タスキなどの反射材を着用することが望ましい

5. 大会当日の交通マナーについて

(1) コース上やその周辺道路への駐車、長時間の停車、無理な追い越しは行わない

※チーム関係者や応援者などへの周知徹底を。事故が起こると、大会が開催できなくなる場合がある